

ため池の役割

ため池は、雨が少なく、大きな河川から離れた地域等で、農業用水を確保するために水を貯めておく人工的な池のことです。

▶農業用水としての役割

雨が少ない地域では、古くから農業用水をため池に貯め、利用しています。

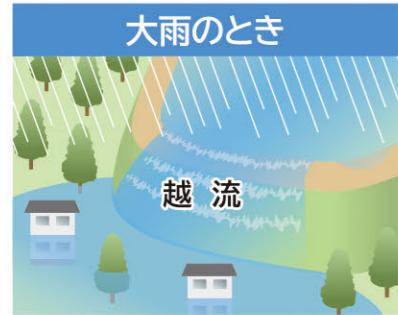
▶防災としての役割

適切に管理することにより、大雨時の洪水調節や、火災時の防火用水としての役割があります。

▶水辺空間の形成

都市化の進行や開発によって緑や水辺空間が減少する中、水に親しむことのできる場所を提供しています。

こんなときは要注意!



大雨のときに、ため池の水位が上昇し堤防を越えた水の勢い(越流)によって堤防が浸食され、決壊することがあります。竹や流木が余水吐(すくいばけ)の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。



大地震のときに、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じたり、地盤の液状化により決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐えきれず決壊に至ることがあるので注意が必要です。

ため池ハザードマップの使い方

ため池ハザードマップは、大雨や地震などの災害により、万が一ため池が決壊した場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立てることを目的として作成したものです。

①事前に浸水範囲や浸水深などを、家族で確認しておきましょう。

②避難先・避難経路を考えておきましょう。

③防災情報の入手先を確認しておきましょう。

浸水状況に応じた避難 (浸水の深さと避難行動)

| ①ハザードマップで周辺の浸水深を確認 | ②どこへ避難するかを判断 | ③以下に注意して避難 |
|---|---|---|
| <p>3.0m以上の浸水</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2階以上が浸水 ●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある | <p>水平避難</p> <p>浸水しない場所(避難所・道路・空き地・高台など)へ移動する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●歩きやすい服装 ●徒歩で避難 ●事前に避難先を決めておく ●高齢者等の避難に協力を |
| <p>2.0m以上～3.0m未満の浸水</p> <ul style="list-style-type: none"> ●床上浸水～(1階部分)2階の床下まで浸水 ●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある | <p>垂直避難</p> <p>自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを2階に持って上がる ●近所の高齢者等に声かけを |
| <p>1.0m以上～2.0m未満の浸水</p> <ul style="list-style-type: none"> ●強い水流の中を歩くことは危険 | <p>屋内退避</p> <p>自宅にとどまる</p> | <p>平屋にお住まいの場合は、0.5m程度の浸水でも危険な場合があります。浸水しない場所へ避難しましょう。</p> |
| <p>0.5m以上～1.0m未満の浸水</p> <ul style="list-style-type: none"> ●床下浸水 ●大人のひざ下程度 ●浸水の深さが、ひざ上になると歩行は危険 | <p>自宅にとどまる</p> <p>▶むやみな移動は、かえって危険</p> | |
| <p>0.5m未満の浸水</p> | | |

(※)避難先への移動に十分な時間と安全な経路が確保されている場合

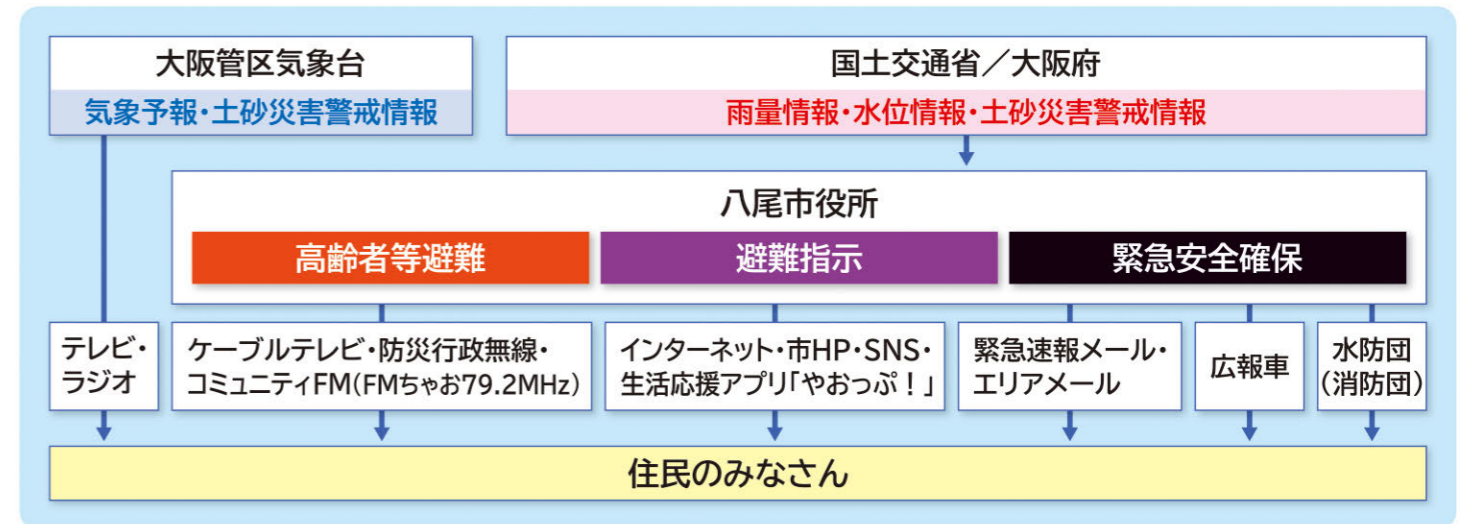
警戒レベル・避難行動と避難情報等

| 警戒レベル | 状況 | 避難行動等 | 避難情報等 |
|----------------------------|------------------|----------------------|----------------------|
| 5 | 災害発生 又は切迫 | 命の危険 直ちに安全確保! | 緊急安全確保※1 (市が発令) |
| ~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難! ~~~~~ | | | |
| 4 | 災害の おそれ高い | 危険な場所から 全員避難 | 避難指示 (市が発令) |
| 3 | 災害の おそれあり | 危険な場所から 高齢者等は避難※2 | 高齢者等避難 (市が発令) |
| 2 | 気象状況悪化 | 自らの避難行動を確認 | 大雨・洪水注意報 (気象庁が発表) |
| 1 | 今後気象状況 悪化のおそれ | 災害への心構えを高める | 早期注意情報 (気象庁が発表) |

※1 災害の状況を確認に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
 (注) 避難情報等は、令和3年梅雨期から運用開始予定の情報を記載しています。

情報伝達の経路

注意報・警報や避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。正しい情報にもとづいて行動しましょう。



情報の入手先

大阪管区气象台

大阪府の気象情報や災害情報等
<https://www.data.jma.go.jp/osaka/>

おおさか防災ネット(八尾市)

八尾市の防災情報等
<http://www.osaka-bousai.net/yao/index.html>

おおさか防災ネット(大阪府)

防災情報メール配信サービス

おおさか防災ネット「防災情報メール」は、災害時の避難情報や防災情報などをメールで配信するサービスです。

〈登録用アドレス〉
touroku@osaka-bousai.net

▶右のQRコードより空メールを送信し、返信されるメールの案内に従って登録してください。

生活応援アプリ「やおっぷ!」

災害時には八尾市より災害情報等がプッシュ通知されます。

Google Play
[Google Play](#)

App Store
[App Store](#)

防災行政無線無料テレホンサービス 防災行政無線放送の内容を電話で確認できます。フリーダイヤル **0800-2008071**